



米沢有為会 仙台支部だより

第4号

平成22年1月15日

発着

(社)米沢有為会仙台支部

支店 甲 國信

仙台市青葉区二丁目6-13-402

TEL 022-215-0236

広瀬川河原での
芋煮会

四釜さんのけん
玉と見つめる人
21.10.10



有為会の今後の活動

仙台支部長 甲 國信



明けましておめでとございます。昨年景気の低迷で世相は明るいものではありませんでしたが、スポーツでは日本チームのWBC優勝をはじめとする明るいニュースが続出し、とくに楽天イーグルスのクライマックスシリーズ出場やベガルタ仙台のJ1昇格は、仙台在住のわれわれを元気づけるうれしいニュースでした。今年はスポーツに限らずいっそう明るいニュースが増えて欲しいものです。

さて、支部だより3号が発行された9月末から今号の発行までの間に、東京と仙台興譲館の大改修工事が終了し、11月15日には有為会の創立120周年記念行事・祝賀会が開催されました。この記念行事中の有為会の歴史回

顧展示には、興譲館寄宿舎の歴代館長の氏名、略歴、写真も展示されることになったため、仙台支部と寮の歴史について調べることになりました。支部には支部開設時からの記録は残っていませんが、幸い米沢の市立図書館に有為会の創立以来の会報が保存されていて、この会報の御陰で支部のおおまかな歴史と、大正3年の仙台興譲館の片平丁への開設の経緯を知ることができました。この経緯には興味あるエピソードが含まれていますので、いずれ支部だよりで紹介したいと思います。

120年もの歴史をもつ有為会ですが、会の今後の平坦な一本道とは言えません。今回の記念事業、特に東京、仙台の両興譲館寮の大規模改修への多額の出費により財政状況が厳しくなってきました。こうした事情により、寮生に施設維持にかかる経費の一部を負担してもらう寮費の改訂が決まりました。また、奨学生OB・OG会からは、今後の奨学事業のあり方についての提言が出されています。暮れに開催された理事会では、平成22年度予算委員会を設置し、この委員会で、厳しい財政事情を十分に考慮した予算案を作成することが決まりました。ここでの議論を出発点に、会の活動を継続していくためになすべきことについての議論が、今後盛んになることと思われま

有為会創立百二十周年記念事業

協賛金募金について

ご承知のように、今回の120周年記念の主要な事業として、東京興譲館仙台興譲館、両寄宿舎の大規模改修が行われました。東京興譲館においては、耐震補強工事を含み、東京五千万円、仙台一千万円、合わせて六千万円の多額の経費が必要でした。この出費により、今後事業を安定的に継続させる上で支障の出ることが懸念されています。有為会はこの出費を補うため、会員、舎生OB、奨学生OB・OGに広く120周年記念事業協賛金の拠出をお願いしています。不況という悪条件下ではありますが、仙台支部の会員各位の格段のご理解とご協力をお願いいたします。

(甲 記)

【仙台興譲館寮大規模改修報告】

昨年8月～9月末迄に改修工事が行われました。主体工事請負者は建築工業(株)東北支店、請負金額は税込9,345,000円(本部決算)。工事概要は会誌や支部だより第3号をご参照下さい。

請負契約外で必要となった追加工事等に仙台支部予算で50万計上しておりますが精算が完了し、12月19日の理事会で左記の【仙台興譲館改修工事支部会計決算案】が承認されました。

(御供 記)

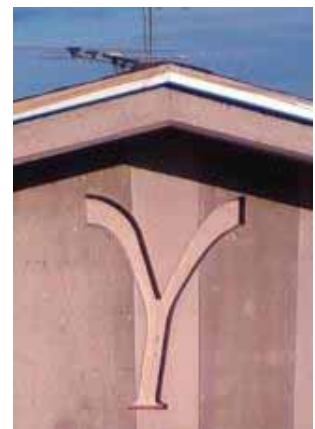
支払日	支払金額	支払先	工事内容
9/2	15,750	鈴木工業	厨房グリストラップ 清掃・産廃処理
	262	三菱UFJ銀行	(同上 振込手数料)
11/27	52,500	光星電気	寮電力容量変更工事及び手続費用
	420	三菱UFJ銀行	(同上 振込手数料)
12/2	215,000	カテナホーム21 八乙女店	カテナクリーニング、レール取付他
	420	三菱UFJ銀行	(同上 振込手数料)
12/11	246,750	建装工業	寮内不要物品廃棄処分費用及び福祉輪場舗装費用他 寮改修工事追加費用
	420	三菱UFJ銀行	(同上 振込手数料)
合計支払金額	531,522		(530,000+振込手数料1,522)



西側正面外観屋根、外装改修。玄関前舗装。
中央ホール吹き抜け二階



★ 仙台興譲館シンボル
マーク説明
1987の移転新築時に塔屋外壁のコンクリートに打ち込んだシンボルマークは
米沢 有為会 若者(ヤング)のそれぞれの頭文字 Y をこれから伸びていく苗木のイメージでデザインしたものである。
(設計者 御供改敏)



【寮費改訂について】

120周年記念主要事業の東京興譲館・仙台興譲館大規模改修工事で先人の遺産から合計約6,000万円を支出した結果、米沢有為会の財政状況は非常に厳しいものとなっており、今後長年にわたって必要となる両興譲館寮維持のための費用のすべてを、従来どおり米沢有為会が負担していくことは困難な状況である為、平成21年10月5日の第5回理事会において、東京・仙台両興譲館寮維持の為の寮費改訂検討委員会が設置され2ヶ月以上の詳細な検討と議論の結果を報告書に纏め平成21年12月22日の第6回理事会に提出、説明し承認された。以下はその要旨である。

『舎生に新たに負担を求める「施設維持費」は、両興譲館寮の日常的修理や、計画的修繕などの維持修繕に必要な費用の一部を受益者が負担するものとし、東京興譲館の舎生には月10,000円、仙台興譲館の舎生には月2,000円の拠出を求め、年間330万円程度を「興譲館寮維持積立金」に繰り入れるものとする。ただし、仙台興譲館については舎生の数が16名以下になった場合

合は月3,000円の拠出とする。また、平成22年4月から23年3月までの1年間は、経過措置として東京興譲館の施設維持費を5,000円に軽減し、平成23年4月から上記金額とする。』

☆ 行事報告

【仙台支部 秋の懇親会(米沢式芋煮会) 10月10日】

恒例の芋煮会を、仙台興譲館大規模改修工事も完了しましたので、改装なった寮も見て頂きながら、今年度は故郷置賜と同じく秋晴れの空の下興譲館寮そばの広瀬川原で、会員・寮生に加えて寮生ご両親・寮OB、改修工事会社にも呼び掛け、同伴者も参加OKのバリアフリースタイルで開催しました。寮生が大変美味しく調理してくれた材料一式米沢直送の芋煮と、米沢からご両親がご持参頂いた郷土の銘酒、懐かしい漬け物やおつまみを頂きながら、又けん玉名人の四釜君の久方ぶりの妙技に見とれながら、話が弾み、大変楽

しい時間を過ごしました。(二頁写真)参加者 在仙会員(甲、今野、滝口、中條仁、長澤、御供、和田、小林+小林夫人) 県外会員(長井、四釜、寮生ご両親(宇山夫妻、島森夫妻、建築業東北支店(秋田谷、宮坂) 小野寺寮母+寮生 総計27(29)名) 中條仁様 以上各二万円) 鯉の洗い(鯉の宮坂) お酒(塚原氏他) その他参加者他からお酒、ビール、おつまみ等多数の提供有

(御供 記)

【第9回仙台興譲館寮同窓会 10月24・25日】

昨年10月24日、25日松島のホテルニュー小松で14名の参加者で開催されました。支部便り3号で高畠町在任の加藤義彦氏が前回までの様子を詳しく報告されたので概要のみ報告します。

昭和37年から45年までの入寮の、遠くは大阪から2名の参加者もありました。第4回(平成16年)の同窓会も同じホテルで、料理もおいしく、朝は露天風呂から見える日の出が最高です。昔の話、今の話、友の話などで盛

り上がり、さらには甲支部長がプロジエクターで昔の寮や改修された興譲館寮のスライドを写し、皆さん感慨深かつたようです。部屋での二次会は、差し入れの地酒手作りの蕪の漬け物、故郷のおみ漬けなどでさらに盛り上がりました。来年は米沢近辺の温泉の予定です。(滝口 記)

【120周年記念祝賀会 11月15日】(創立百二十周年記念特集号誌42、43頁参照)(於東京千代田区都市センターホテル)

仙台支部からも甲、田林、塚原、中條仁、御供、渡部順一以上6名の会員が参加しました。前理事・本部相談役の中條仁前仙台支部長が永年功労で表彰されました。祝賀パーティーでは、懇親を深める会員が行き交い、会場は大賑わいを呈しました。この混雑のなか、大関舎生OB会長(仙台寮OB)のよびかけで、出席していた入寮年が昭和24年から37年の仙台寮OB10名が顔合わせを行っています。この祝賀会をもって主要な記念行事は終了しました。

【米沢興譲館同窓会 9月19日】

9月19日に米沢グラウンド北陽で開催された米沢興譲館同窓会総会・懇親会に仙台からも(甲、鹿俣 塚原、中條仁、御供、和田他)多数参加しました。

【宮城支部総会 11月28日】

11月28日にKKRホテル仙台で平成21年度米沢興譲館同窓会宮城支部支部総会が高野譲同窓会長・蒲生直樹校長をお迎えして開催されました。

1. 総会の役員改選で、長年支部長の重責を担われてこられた中條仁支部長(S23年卒)が勇退されて顧問に就かれ、後任新支部長に塚原保夫東北大学名誉教授(S30年卒)が、又新幹事に甲(旧姓蔵田)國信東北大学名誉教授(S37年卒)が就任しました。

長年支部を纏め続けた中條先生に感謝の意を表します。

2. 記念講演会は今野(旧姓渋谷)多助東北大学名誉教授(東北大学加齢医学研究所所長、宮城県がんセンター総長他を歴任。現在日本尊厳死協会東北支部長、長井高校出身、米沢有為会仙台興譲館舎生OB)に、「私の履歴書」というテーマで、ご自身の米沢との関わり、小児科医としての研究業績、尊厳死問題など非常に興味深い内容を、

医療史を軸に整理して頂きながらお話し頂きました。

中でも米沢との関わりのお話として、伊東忠太博士の兄、祐彦先生(小児科医、現九大学長、現久留米大学長などを歴任)が1910年に「仮性小児コレラ」と名付けた疾患原因を、今野先生が1973年に新ウイルスとして特定確認しロタウイルスと命名された事は、伊東忠太博士や祐彦先生が中心となつて120年前(M22)創設された米沢有為会とのご縁や、先生がご用意下さった日本小児科学会誌に代表的存在として大きく載っていた祐彦先生のお写真が伊東忠太博士に瓜二つであったことと併せてとても印象深く感じました。

3. 懇親パーティーでは、高野会長から同窓会本部や他支部の状況、蒲生校長から興譲館高校の近況やNHKヒストリア取材・放映などをお伺いし、母校興譲館で義の精神が綿々と受け継がれていることや、若き後輩達が洗刺と勉学に励み飛躍している様子を話題に懇親を深めました。(御供 記)



【忘年会 12月19日】

事前に開催した第3回支部理事会で仙台興譲館改修工事支部会計決算案・寮費改訂関係を報告し承認を得ました。

(出席者) 加川、甲、鹿俣、亀岡、栗田、滝口、塚原、中條仁、中山、長澤、御供(祝儀提供者) 本田様一万円、高屋様・坂昌紀様・和田様、その他参加者他会員有志からお酒等提供有



☆ 行 事 案 内

☆ 仙 台 支 部 ・ 仙 台 興 譲 館 同 窓 会 新 年 会

兼 寮 寮 生 道 出 し コ ン パ

1月23日(土)午後5時半より

於 仙 台 興 譲 館 多 数 参 加 下 さ い。

21日(木)迄事務局(215-10236

FAx215-10252)までご連絡下さい。

い。

「天地人」と中條家のこと

中條整形外科医院

中條仁



春日山城跡にて

天正十年三月、甲斐、信濃を領していた武田勝頼は、織田信長の軍勢の攻撃を受けて、あつげなく滅亡してしまつた。同年四月には柴田勝家、佐々成政、前田利家らの率いる一万五千の大軍が、越後上杉の西の砦、富山の魚津城を取り囲み、日夜激しい攻撃を加えた。

藤沢周平著「密謀」の中には次のような件がある。

「中條景泰以下、魚津城を死守する上杉の将兵は天神山から退く上杉勢を見て死を決した。中條、竹股広綱、吉

江信景ら主な部将は自ら耳たぶに穴をあけて、そこに姓名を記した板札を鉄線で結びつけ、決戦にそなえた。

柴田勝家、佐々成政、前田利家らの織田勢の猛攻は五月の晦日にはじまり、激闘四日、守将中條景泰以下三千八百の上杉の将士はことごとく討死にする。」

これを読んで、もしや中條景泰は先祖ではないのかと思ひ、佛壇にある過去帳を早速見たところ、「中條越前守景泰、天正十年六月三日没、法名、景泰院殿月曇黙心居士、行年二十五才」とあるではないか。私は景泰の存在すらそれまで知らなかった不明を恥じました。

一月からNHK大河ドラマ、天地人の放映が始まり、先祖ゆかりの地、越後そして魚津への思いがつのり、一月二十一日より二泊三日で彼地を訪れました。上杉景勝、直江兼統主従の生誕地、南魚沼市は雪深い土地でした。二人が幼少期に修業した雲洞庵や兼統伝世館などを駆け足で廻り、上越市へ向かいました。上杉の居城、春日山へ登りましたが、雪融けの山道で泥まみれになりながら、狭い尾根伝いに本丸はじめ館跡、謙信が戦勝祈願をした毘沙門堂を見てまわり、山麓の春日山林泉寺に詣でました。次いで富山県魚津市を訪れました。激戦のあった魚津城跡

は小学校や裁判所となっており、石碑のみがありました。小学校の校長先生が親切に色々と解説してくれました。討死にした上杉将兵の供養塔がある」と伝えられた寺を訪れたところ、塔は撤去されて墓地になっていました。住職に問い直したところ、急いで再建することになっているとのことでした。

魚津城の戦いは、また別の事件がからんで一層ドラマチックとなっている。落城前日の六月二日、京都、本能寺において明智光秀の謀反により織田信長が自刃して果せている。信長死すの報が柴田勝家らの織田軍に届いたのは四日夜のこと、翌五日朝、織田方の軍勢は潮の引くように消え去ったといわれている。通信網の発達している現代なら魚津城の落城はなかつたと思われるが、上杉方にとっては正に痛恨の極みであつたらう。

主君の景勝は秘かに手紙を送り、城を放棄するか、城を明け渡して降服するかを命じていたがこれを頑としてはねつけ、食糧も矢弾も盡き果てた今は全員自刃の道を選んだのである。四日朝静まりかえつた城に入った織田軍の将兵は、死体の山を目にし、更に景勝の手紙を発見してすべてを理解し、見事に義に殉じた亡骸を丁寧に埋葬したと伝えられている。歴史にもしほはあり得ないが、八十数日間もの長い間、一

万五千の大軍をここに釘づけにすることながなかつたならば、また信長の不慮の死がなかつたならば、上杉の運命はどう変わっていたであろうか。

中條家に伝わる古文書の中に「魚津在城衆十二名連署書状」がある。魚津城を守備していた十二名の諸將の達名で直江兼統(与六)に宛てたものである。「敵はもう壁ぎわまで迫っておりこの上は死を覚悟している。景勝へ伝えてくれるように」といった内容である。

(付図)これを認めた城中将兵の苦衷を思うと胸に熱いものが込みあげてくる思いである。景勝は五千の兵を率いて魚津城救援のため天神山に布陣したが、信濃や関東から織田軍が進攻し、新発田重家が織田と通じて反旗をひるがえすなどで本擦春日山城が危険となつたため、五月二十七日に撤退の止むなきに至り、魚津城を見殺しにせざるを得なかつたのである。

中條家に伝わる古文書二百三十三通は現在山形大学附属図書館に所蔵されている。源頼朝が三浦半島に挙兵した際これを助け、また建久三年(1192)年鎌倉幕府の創建に協力した功績から、相模国南深澤及び越後国奥山庄の地頭職に任命されている。この任命書から以後江戸期に至るまで、領地相続、領地経営、一族の動向など一連の文書は、鎌倉期から戦国期までの政治情勢

を知るための重要な史料となっており、平成四年、国の重要文化財に指定されている。これらの文書に基づいて、歴史上の出来事についていずれ述べざる機会があればと思っております。

(前仙台支部長
宮城臨床整形外科学会誌より転載)



「魚津在城衆十二名連署書状」。魚津城の守将たちが、直江兼続に討死する覚悟を伝えたもの(「中條家文書」山形大学附属図書館蔵)

☆会員からのたより

☆人と人との絆

亀岡 祐一(仙台興譲館OB 医師
光ヶ丘スペルマン病院ホスピス長)

12月の忘年会は、喜んで参加させていただきまます。幸い今回は、仕事のスケジュールが決まる前にご連絡をいただけたので、優先して予定を入れることができました。久しぶりですので、何卒よろしく願います。

なお、ご報告ですが、小生の子ども二人(6年生、4年生)がリトルリーグの鶴ヶ谷ファイターズというチームに所属しており、このたび私がチーム事務局長に就きました。チームは、体制の一新を図っているところで(楽天にならったわけではありませんが)監督も交代し、チームの会長に就いていた野田護氏(仙台市市議会議長)が辞意を表され、その後の会長後任を中條先生の人脈を頼りにご相談しに伺ったところ、先生ご自身が快く会長を引き受けくださいました。あらためて、人と人との絆と同郷の先輩方のご厚情を感じさせていただきました。

(近況報告から抜粋編集させて頂きました)

☆おかげさまで、SCSミュージカル研究所は創立20周年。

廣瀬 純(仙台興譲館舎生S55
入寮OB SCSミュージカル研究所
代表取締役 www.scsmusical.com)

本年も益々のお引き立てのほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

★5月のよねぞわミュージカル(米沢市制120周年記念事業作品)、お時間あれば是非ご覧下さい。米沢でつくられる初めてのミュージカルです。

【2010年 SCS制作オリジナル作品 公開情報】

☆H22 / 5 / 4 ~ 5

♪♪伝国座ミュージカル Faith

♪♪at 伝国の杜ホール(米沢市)

☆5 / 7 ~ 8

♪♪SCSミュージカルいのちのシリーズ♪♪

at 仙台市福祉プラザ

☆8 / 21 ~ 22

♪♪SCS20周年記念公演♪♪

at 仙台市青年文化センター
☆11 / 21 ~ 23

♪♪七ヶ浜ミュージカルMEGUR

♪♪at 七ヶ浜国際村

☆ 12 / 24

♪♪SCS Xmasミュージカル

♪♪at 仙台市福祉プラザ

☆新入会員紹介 (平成21年9月)

平成22年1月

・安部清氏 (H21入寮生安部玄樹君の父上) 米沢市関根

・建幸工業株東北支店(仙台興譲館大規模改修施工請負会社) *法人賛助会員*

代表者 執行役員東北支店長 高橋学氏 仙台市宮城野区福田町南

・中居 浩二氏 (株)復建技術コンサルタント 多賀城市山王 川西町出身

編集後記 ▼120周年が過ぎ、次の

ステップに踏み出しましょう。

編集子

編集長 滝口政彦

発行世話人 御供政敏

浮よのたび4

(米沢有為会生みの親 伊東忠太氏の日記) — その4

伊東忠太ら学生6名が發起人となり明治22年11月23日(神嘗祭)有為会が結成されたいきさつは、有為会誌創立100周年及び110周年特集号(松野良寅氏記)に詳しい。今回連載する日記は翌23年の元旦から、1月11日欧遊館での米沢大親睦会で忠太が同士加入要請演説をぶった日迄の分である。

当時忠太氏は空橋時代と自称した合宿状共同生活を送り切磋琢磨していた。(御供 記)

第3号の訂正

p. 8 「浮きよのたび3」

五日の日記の訳文

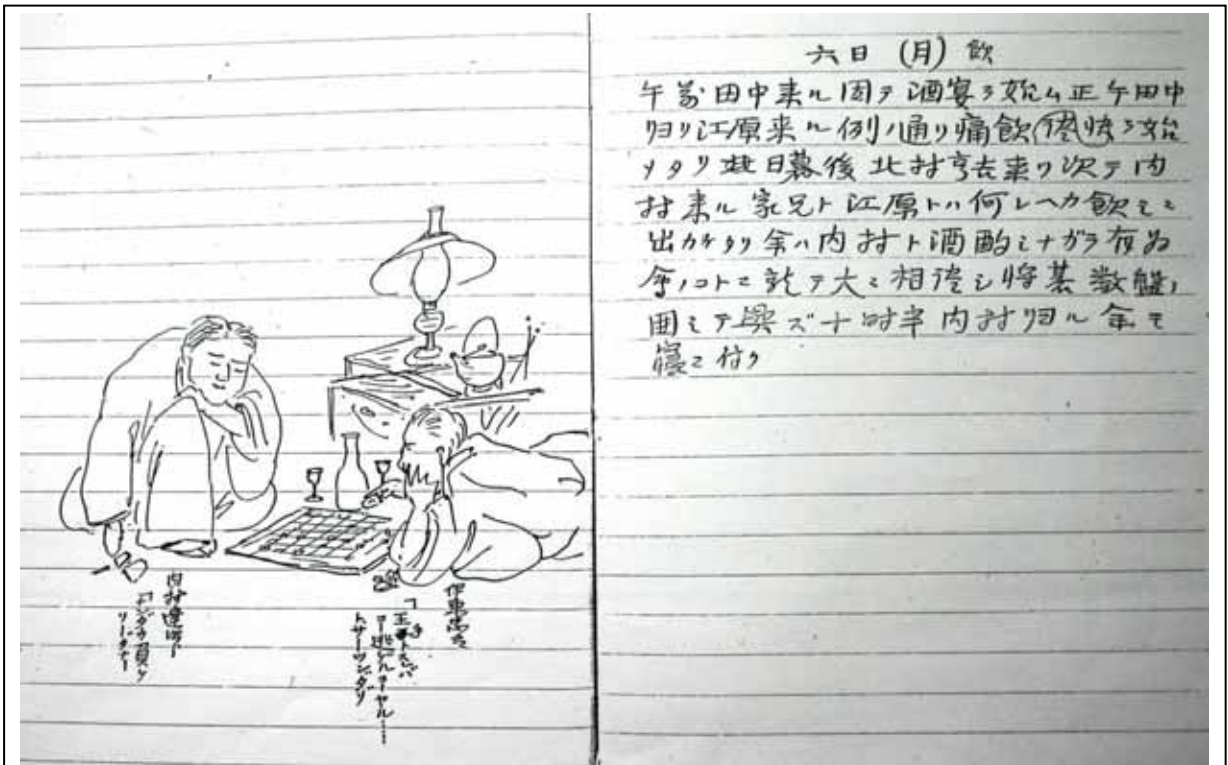
11行目 今日ハ終日酒ヲ飲シシカ

↓ 今日ハ終日酒ヲ飲ミシカ

12行目 天ノ義祿(?)

↓ 天ノ美祿(お酒の美称)

*お詫びして訂正します



内村達次郎

「ナンダカ負けソーダナー

伊東忠太

「王手トスレバコー逃ゲル コーヤル・・・ト. サーツンダンゾ

六日(月) 飲

午前 田中来ル 因テ酒宴ヲ始ム

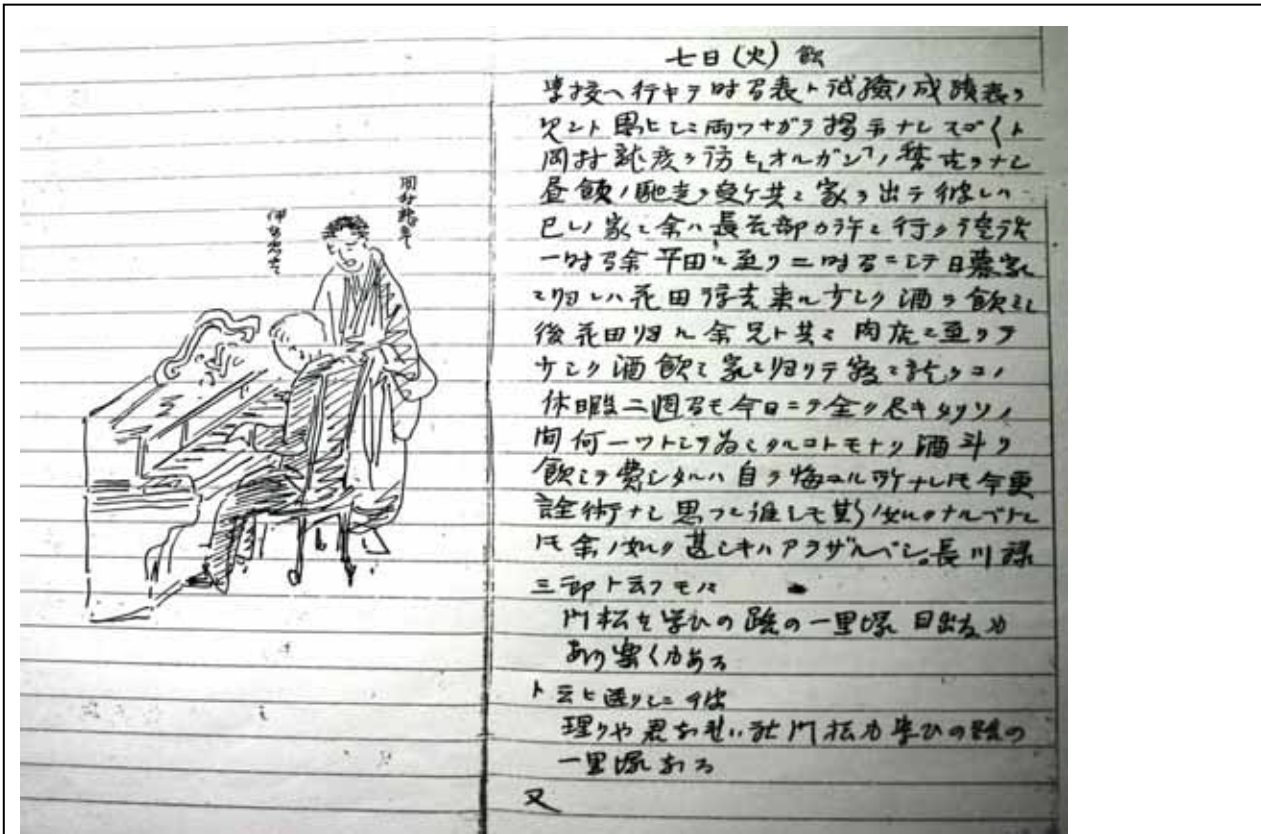
正午 田中帰り江原来ル 例ノ通り痛飲快談ヲ始メタリ

日暮後 北村亨吉来リ 次テ内村来ル

家兄江原トハ何レヘカ飲ミニ出カケタリ

余ハ内村ト酒酌ミナガラ 有為會ノコトニ就テ大ニ相談シ
将棋数盤ヲ囲ミテ興ズ

十時半内村帰ル 余モ寝ニ就ク



伊東忠太 岡村龍彦

七日(火) 飲 学校へ行きテ時間表ト試験ノ成績表ヲ見ント思ヒシニ 両ツナガラ揭示ナシ
 スゴスゴト岡村龍彦ヲ訪ヒ「オルガン」ノ稽古ヲナシ 昼飯ノ馳走ヲ受け共々家ヲ出テ
 彼ハ己レノ家ニ 余ハ長谷部カ許ニ行ク 談話一時間余 平田ニ至リ二時間ニシテ日暮
 家ニ帰レハ 花田淳吉来ル 少シク酒ヲ飲ミシ後 花田帰ル
 余兄ト共ニ 肉店ニ至リテ 少シク酒ヲ飲ミ家ニ帰リテ寝ニ就ク
 コノ休暇二週間モ 今日ニテ全ク尽キタリ ソノ間何一ツトシテ為シタルコトモナク
 酒斗リ飲ミテ費ヤシタルハ 自ラ悔ユル所ナレトモ 今更詮術ナシ
 思フニ誰シモ斯克ノ如クナルベケレトモ 余ノ如ク甚キハアラザルベシ。
 長川祿三郎ト云フモノニ 門松を学ひの路の一里塚 目出度(く)もあり樂(し)くもある
 ト云ヒ送リシニ 彼
 理りや 君が**い*(?) 門松も 学ひの路の一里塚な(?)る
 又 學ひて(と?)う 路行く君も行来(し)た同じ冥土へ(?)行かでやハある
 ト返詩ヲ送リたり面白シ面白シ

